

令和元年度第1回 鈴鹿亀山地区広域連合 介護保険運営委員会 議事概要

日 時 場 所	令和元年7月25日(木) 午後1時15分から午後3時まで 鈴鹿市役所 12階 1203会議室
出席委員	運営委員会委員 12名 菅原 秀次 委員, 尾崎 郁夫 委員, 林 隆俊 委員, 中澤 直美 委員, 江藤 空 委員, 大倉 徹也 委員, 廣瀬 雅也 委員, 中川 久子 委員, 松井 一人 委員, 藤本 高尚 委員, 手平 規矩夫 委員, 田中 啓子 委員
欠席委員	丸橋 勲 委員
事務局	事務局 17名 鈴鹿亀山地区広域連合事務局長 佐藤, 介護保険課長 谷本, 指導GL 竹内, 認定GL 藤本, 給付GL 岡田, 管理GL 服部, 管理G 近澤, 佐々木, 鈴鹿市長寿社会課長 真置, 高齢者福祉GL 市川, 地域包括ケアシステム推進室長 川岸 亀山市市長寿健康課長 高嶋, 鈴鹿中部地域包括支援センター長 長谷川, 鈴鹿西部地域包括支援センター長 森田, 鈴鹿北部地域包括支援センター長 岡島, 鈴鹿南部地域包括支援センター長 青島, 亀山地域包括支援センター長 中川
傍 聴	なし

1 委員会成立の確認, 会議の公開決定, 議事録作成の確認

2 議事

(1) 地域包括支援センターの平成30年度決算・事業報告について

- ・事務局, 各地域包括支援センターから説明【資料2-1, 2-2】

(松井委員)

地域包括支援センターの収支決算について, 運営法人等からの繰入金にて赤字をカバーしている現状。歳入不足の原因について, 事務局として, 委託料が少ないか, 介護保険収入の努力不足と考えるのか。

(事務局)

人件費は国の示す基準もあり見合ったものと考えているが, 実際足りていないのは理解している。予算上, 不足分すべては賄いきれない。決して活動努力不足とは考えていない。次年度予算に向け, 各地域包括支援センターと協議したい。

(手平委員)

地域包括支援センターの業務は多く, 今後も減るものではない。人員配置や働き方改革など, 現状はどうか。

(西部包括)

人員は苦しいところもあるが, 多職種協力している。

(菅原会長)

地域包括ケアシステムの強化には、医療・福祉との連携が重要。地域、家庭からの声が届くようなサロン活動、地域づくりなど、今後に期待したい。

(田中委員)

民生委員や市民サロンなどの活動は活発になっている。活動に対する保障はあるか。

(菅原会長)

大学生のボランティア参加には、ボランティア保険に加入している。安心できれば、積極的な参加が望める。

(尾崎副会長)

各地域包括支援センターの受託金額が違うのはなぜか。事務局として、運営法人等からの繰入金についてはどう考えるか。

(事務局)

人件費について、人数等により算出しているため金額が違う。人員の昇給分は見込んでいない。運営法人等からの繰入については、現状では認めざるを得ない。

(菅原会長)

運営法人が、医療法人か、社会福祉法人かによっても経営が違うかも。社会福祉法人は地域貢献をしているため。

(廣瀬委員)

西部地域はサブセンター、亀山地域はランチを実施している。地域性があるかと思うが、ランチを増やす構想はあるのか。

(事務局)

中部地域と南部地域については、来年度に向けランチを検討している。北部地域については、圏域が狭いため現状でと回答をもらっている。

(藤本委員)

ランチ 200 万円×3 の根拠は。

亀山地域包括支援センターは運営法人からの繰入はないが、人件費について非常勤職員で、何とかやっていること御理解いただきたい。

(事務局)

ランチは定額。亀山包括と鈴鹿市内の包括と運営の仕方は違う。

(菅原会長)

事務局は、実態とあり方に応じて考えて欲しい。

議題について委員に承認を確認、委員承認。

(2) 鈴鹿亀山地区広域連合第7期介護保険事業計画の平成30年度進捗状況について

・事務局から説明【資料3, 3-1】

(中澤委員)

要支援1・2から総合事業対象者への移行はどれくらい。

P28介護予防居宅療養管理指導の執行率261.4%となっているが、総合事業が始ま

っても増えているのか、推計を低く見積もったのか。

(事務局)

総合事業への移行数は把握できていないが、平成30年度の総合事業対象者は149名。  
推計を低く見積もった訳ではないので、実際に増えている。

(尾崎副会長)

総合事業が始まってコスト的にはどうか。

(事務局)

利用者は増えているが、コスト的には大きな変化はない。

(廣瀬委員)

地域ケア会議について、問題多い。もう少し吸い上げた会議の開催見通しは。  
自立支援型の地域ケア会議については。

(事務局)

担当者レベルの課題検討会議を複数回開催したい。

県主催の自立支援型の地域ケア会議の勉強会に参加しているので、協力をお願いします。

(尾崎副会長)

地域ケア会議の開催について、もっと市が主体的にしては。地域包括支援センターでは、  
厳しい部分がある。地域の人も入れて、広がっていくように。

(江藤委員)

亀山市老人クラブ連合会の会員数は減少傾向にあるが、何か増加の手段はあるか。  
認知症の会員との関わりはどうしたらいいか。

(事務局)

鈴鹿市老人クラブ連合会も同じく減少している。会員に対しメリットのあるイベント等を  
考えたい。

認知症高齢者については、まずは受入れて、周囲の手助け、配慮をお願いします。

(手平委員)

サロン活動について、地域や自治会などで分からない人多い。情報発信をして欲しい。

(事務局)

生活支援コーディネーターなど通じて、情報提供する。

議題について委員に承認を確認、委員承認。

### (3) 介護保険運営委員会選定部会について

- ・事務局から説明【資料4-1, 4-2】

(林委員)

説明会への参加状況は。

(事務局)

6事業者の参加。内訳は、定期巡回・随時対応型訪問介護看護が3事業者、看護小規模多  
機能型居宅介護が3事業者。

議題について委員に承認を確認，委員承認。

- (4) 居宅介護支援事業所の指定更新について  
地域密着型サービス事業所の指定更新について  
居宅介護支援事業所の廃止・休止届出について  
地域密着型サービス事業所の廃止届出について  
居宅介護支援事業所の新規指定について  
地域密着型サービス事業所の新規指定について  
・事務局から説明【資料5】

特に意見や質問はなく，議題について委員に承認を確認，委員承認。

- (5) 平成31年（令和元年）度併設ショートステイの特別養護老人ホーム転換計画に係る選定結果について  
・事務局から説明【資料6】

特に意見や質問はなく，議題について委員に承認を確認，委員承認。

予定していた事項の審議は終了。委員から他の事項の提案はなく，終了。